

東京都建設局ICT活用工事等推進連絡会の設置について

東京都建設局総務部技術管理課長 中村正明

◎ 設置目的

- 建設局発注の工事や調査等において、ウイズコロナ社会における生産性の向上や業務の改善（DX）、工事の品質確保の実現に有効であるICTが、着実に活用普及されるよう環境整備を図る。
- 建設局や国交省、建設業の各種団体等との意見交換や情報共有を通じ、東京の特性を踏まえICTの活用に向けた課題等を整理し、対応する施策を展開する。
- 技術革新等に合わせ、ICTに関係する職員等の知識習得や対応能力の向上を図る。

◎ 体制

【メンバー】

- 東京都建設局、○ 国土交通省関東地方整備局東京国道工事事務所、
- 東京建設業協会、○ 日本道路建設業協会、○ 建設コンサルタツ協会関東支部、○ 東京都測量設計業協会、
- 日本建設機械施工協会

※ 都庁内関係局や他団体も参画

※ 都内区市町村には、発注者協議会（区市町村連絡会）等を通じて情報提供

◎ 活動内容

○ 東京都建設局の取組状況や方針等の情報提供

- ・ ICT活用工事の実績及び発注予定案件
- ・ 取組の進捗状況、要領の改訂や新規制定に関する内容など

○ 各種協会からの意見等の収集、把握

- ・ 各協会の活動内容や先進的な事例等の情報共有
- ・ 受注者からみた発注者への要望など

○ 普及に向けた啓発と対応

- ・ ICTを活用した施工現場の見学会
- ・ 発注者、受注者双方の職員が参加する講習会の開催、活用等

◎ スケジュール

令和2年

7月 ◎ 第一回連絡会（7月28日）

9月 ◎ 現場見学会

11月 ◎ 講習会

} 予定

令和3年

1月 ◎ 第二回連絡会（2月を予定）

3月

建設局事業におけるICTの積極的な活用に向けて

● ICTの活用による効果

- ・ ICT建機等の導入拡大により、**現場作業の省人化**
- ・ 施工ステップ(調査測量、設計、施工、検査など)における**3次元データの活用**により、**業務効率を向上**
- ・ 竣工後、これらの3次元データを**維持管理に活用**
- ・ **事務作業のリモート化等**により、効率化に加え**感染症対策にも寄与**

● 現状

◎ 建設局事業におけるICT工種の拡大

(件) 稼働実績

	土工	舗装工	河川浚渫	適用工種
H29年度	2	—	—	ICT活用工事実施要領 ICT(土工)
H30年度	6	1	—	ICT(舗装工)
R元年度	8	2	5	ICT(河川浚渫)

※調査委託、測量委託においても、受託実績あり

◎ 受注者から建設局への意見

- ・ ICT活用によるスケールメリットが低い(コスト面)
- ・ 都内ではGNSS環境が不利
- ・ 職員のICT活用に関する意識、知識、経験等が不十分 など

● 進め方

◎ ICT等の活用促進を目的とした調査検討

- ・ ICT活用工事等推進連絡会の設置
ICT活用促進に向けて協会等からの情報聴取・共有
- ・ 国内外のICT活用の情報収集等
行政、学系、学会等のICT活用促進に向けた方策を整理
- ・ 課題の分析
工事、調査、維持管理など局事業全般におけるICTの活用促進上の課題を分析

活用推進策

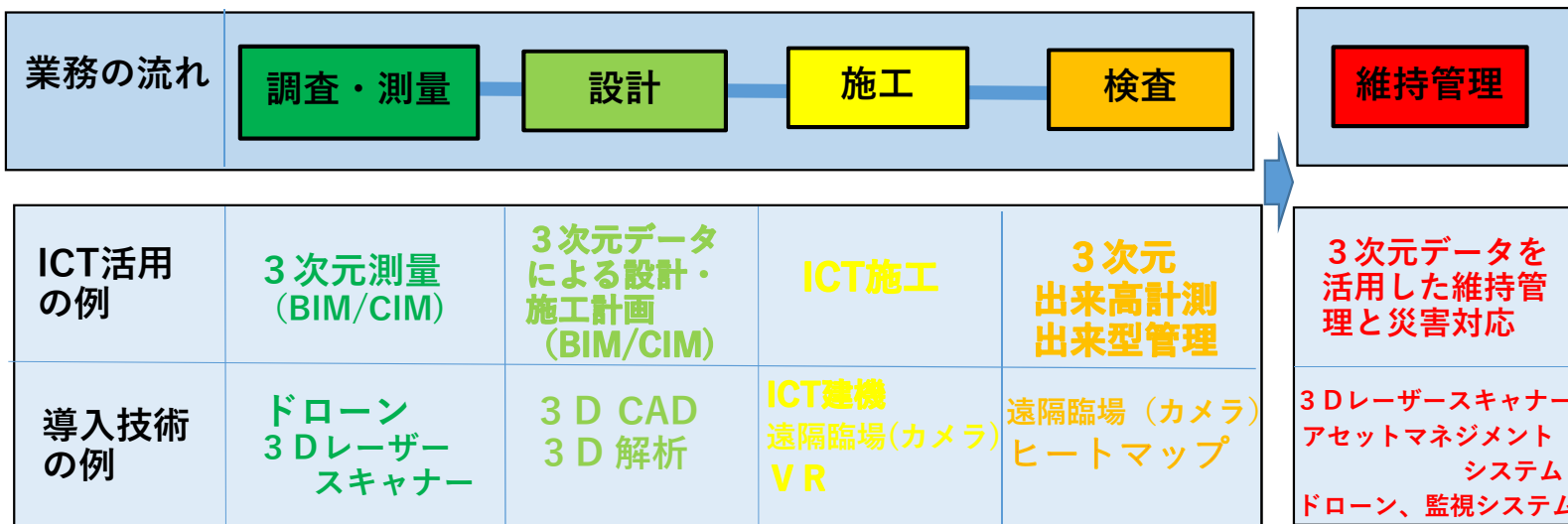
◎ 事務所への導入を推進

各事務所でのICT活用工事等を推進

◎ 職員への意識啓発

現場見学会・講習会等を企画開催し、局職員の知識・経験を醸成

◎ICT技術を活用したインフラの建設から管理までのイメージ



<業務の改善>

受注者等とともにICTの活用を進め、**感染症拡大防止に向けた接触機会の削減**や、**業務の改善・効率化**に取り組む。

- ・ リモート会議の拡大
- ・ 電子納品システム
- ・ 各種書類申請の
オンライン化
- ・ RPAの導入 など

・ 建設事業における生産性の向上や業務の改善 (DX)、工事の品質確保を実現するため、まずはICT技術の活用を工事の各段階で推進する。

・ 一層の業務改革を目指して、調査・測量から設計、施工段階までの一貫したBIM/CIMの活用、維持管理段階での3次元データ活用などを推進する。

・ インフラデータプラットフォームなどとの連携も視野に入れて一層の発展を目指していく。